

## ジョフジャエフ・ジャムフル

ウズベキスタン出身

筑波大学 理工情報生命学術院 修士課程

### 「ウズベキスタン」の紹介

はじめに皆さんはウズベキスタンという国を聞いたことがあるだろうか？日本では「名前を聞いたことはあるが、どこにあるかわからない」という答えを聞くことが多い。確かに、日本とウズベキスタンの関係は、アメリカや東南アジアほど密接ではないため、日本人にとって馴染みがないことは当然だろう。今回は、この記事を通してぎっくりと母国を紹介し、興味を持っていただければ幸いです。

#### 【国紹介】

##### ～ 地理 ～

ウズベキスタンは中央アジアに位置している。周囲はキルギス・カザフスタン・タジキスタン・トルクメニスタン・アフガニスタンと、特に\*「スタン」で終わる国々に囲まれている。上記の国は内陸国であり、それらに囲まれたウズベキスタンは二重内陸国とも言われている。面積は日本の約 1.2 倍で、人口は約 34 000 000 人である。

\*「スタン」は“土地”を意味する

##### ～ 歴史 ～

この地域に初めて住み始めたのは古代イラン系のソグド人で、その後多数の民族が移り住み、8 世紀にアラブ人により征服されイスラム教が広がった。その後はモンゴル帝国、テムール朝、ロシア帝国・ソ連連邦等を経て 1991 年に独立を果たした。現在はウズベキスタン共和国となっており、大統領が国の主となっている。

##### ～ 天気・気候 ～

ウズベキスタンは比較的細長い国なので、気候は地域によって異なるものの、国全体的に降水量が少なく乾燥している。そのため、農業に河川

の水を使うことが多い。日本と同じく 4 つの季節があるが、近年は地球温暖化の影響で冬は雪が少なく、夏は 40℃を超えることもある。しかし、湿気がないので日陰や夜は比較的涼しい。旅行をするならば、春がオススメである。また夏は、日本であまり目にしない果物を食べられるので、夏の暑さに耐えられる自信があるならば、夏に行くのも良いかもしれない。

##### ～ 食文化 ～

ウズベキスタンの主食はパンである。パン無しで料理を食べられないという人は多く、私もその一人だ。料理は本当に多様で全て美味しく、日本人にも好まれる。全ての料理にお肉が入っているので、ベジタリアンの旅行者は、食事に気をつけなければいけない。また脂質を多く含む料理や麺料理も多く、しかもそれをパンと一緒に食べるので、旅行に来た際は、太っている人をよく見かけよう。

##### ～ 文化 ～

ウズベキスタンの若者は、みんな結婚が早い。多くの方は 20 代のうちに結婚してしまう。日本の場合、結婚したら家をでるのが普通だと思うが、ウズベキスタンの場合は家の敷地面積が広いので、男兄弟が二人以上いない限り、両親と住み続けるのが普通だ。子供ができたなら、両親が仕事をする時に、祖父母が子供の面倒を見てくれるのでとてもありがたいことだと私は思う。

##### ～ 環境問題 ～

昔世界で 4 番目に大きかったアラル海の湖が、ソ連による無謀な農業計画の影響で、たった半世紀で 1/10 まで縮小してしまった。枯渇してしまっ

た地域は砂漠に代わり、現在は、動物でも人間でも住めなくなりました。

### 【 自己紹介 】

私は初めて日本語を聞いた時に、その美しさに憧れて日本語を学ぶことを決め、ウズベキスタン日本センターで日本語を勉強し、日本の文化に触れた。そんな中、高校 3 年生の時に NHK World チャンネルで日本の家畜農家についての番組を目にした。農家なのにさまざまな機械や技術等をしようしている姿を見て、農業についてのイメージが変わった。こうして 来日して筑波大学に入学した私は、既に述べたように、内陸国で水資源に乏しいウズベキスタンで環境に配慮した農業経営を行うための勉強を始めた。水産養殖と水耕栽培を併せた新しい循環型農耕技術であるアクアポニックスを、降水量が少ないウズベキスタンで 導入することで、持続的な作物生産を行い、今後起こりうる食糧不足の抑制に貢献したいと 思っている。

以上



ウズベキスタン タシュケント地下鉄  
引用：(LOTTE HOTEL & RESORT  
MAGAZINE)

URL:

[https://www.lottehotelmagazine.com/ja/travel\\_detail?no=249](https://www.lottehotelmagazine.com/ja/travel_detail?no=249)



ウズベキスタン 青の都「サマルカンド」

引用：(TABIZNE) URL:

<https://tabizine.jp/2016/02/19/59654/>